

12月18日(月)

すばらしい救い主

聖書朗読 ヨハネ 1:29~34

「見よ、世の罪を取り除く神の小羊。」

ヨハネ 1:29

イエス様は、算数のような救い主です。イエス様は、足したり掛けたり引いたりしながら、永遠の平安や豊かな喜びを私たちにくださいます(ヨハネ10:10, 14:27)。私たちがイエス様に信頼して従えば、イエス様は物質的な恵みと精神的な恵みを掛け合わせてくださいます。ペテロが『何もかも捨てて、あなたに従ってまいりました。』と言ったとき、イエス様はこう説明されました。『わたしのために、また福音のために、家、兄弟、姉妹、母、父、子、畑を捨てた者で、その百倍を受けない者はありません。今この時代には、家、兄弟、姉妹、母、子、畑を迫害の中で受け、後の世では永遠のいのちを受けます。』(マルコ10:29)。

しかし、神様はまた引き算もなさいます。バプテスマのヨハネはイエス様を見て、『世の罪を取り除く神の小羊』と言いました(ヨハネ1:29)。イエス様の中に、私たちは平安や喜びを見つけます。私たちが犯す罪や恥は取り去られ、かわりに私たちには数倍の祝福が与えられるのです。

恵みは神様ご自身です。

その愛のエネルギーは、

教会と私たちのたましいの中で

働いています。

——エブリン・アンダーヒル

讃美歌 257

祈り 主よ。私たちの罪と恥を取り除いてくださってありがとうございます。
キリストの御名において。アーメン。

エドワード・J・ロビンソン
テキサス州 ターレル

今日の力

2017年12月18日～12月24日

翻訳 ゲラ弘美

編集 岩田欣三

この冊子の聖句は、新改訳聖書第三版を使用しています。

御茶の水キリストの教会

12月19日(火)

明 か さ れ て な い 驚 き

聖書朗読 ヨハネ 2:1~12

私たちにではなく、主よ、私たちにではなく、あなたの恵みとまことのために、
栄光を、ただあなたの御名にのみ帰してください。 詩篇 115:1

『わたしの時はまだ来ていません。』とイエス様は母マリヤに言いました。しかし、マリヤは、イエス様がこのカナの婚礼で人々を圧倒することができると確信していたにちがひありません。花婿と花嫁は何が起こるのか知る由もありませんでした。マリヤはイエス様が気乗りしないことを知っていたので、手伝いの人たちに、『あの方が言われることを、何でもしてあげてください。』と言いました。さあイエス様、輝いてください！という気持ちで。

おそらくイエス様は、違う機会にと思っていたのかもしれませんが。また、花嫁と花婿の注目を引きたくはなかったのかもしれませんが。しかし、イエス様はよい息子でした。母の熱意に従ったのです。

終いには、イエス様は宴会の客たちにはわからないように、問題を解決しました。宴会の世話役は、よいぶどう酒をよく最後までとっておいたと花婿を褒めました。宴会の客たちは、自分たちが飲んでいるのが一生に一度の素晴らしいぶどう酒であることさえ知らなかったでしょう。では誰が知っていたのでしょうか。福音書には、『水をくんだ手伝いの者たちは知っていた。』とあります。こんな小さな仕事の中で、イエス様は『ご自分の栄光を現され』ました。それで、「弟子たちはイエス様を信じました」。

最も顕著なイエス様の最初のしるしは、ごく少ない観客によって目撃されました。しかし、これはイエス様のなさった多くの仕事にいつも共通しています。身分の低い召使が目撃したことには意味があります。弟子たちがイエス様への信頼を強めたことにも意味があります。恵みを受けた無名の人々によって世界は成り立っているのです。

讃美歌 第二編 167

祈り 主よ。私たちが信仰の薄い人たちのために働くよう呼ばれるとき、準備して従えるように助けてください。私たちの小さな信仰でも、あなたのお姿を日々しっかりとみることができますように。
イエス様の御名のもとに。アーメン。

デイビッド・リムレー
カリフォルニア州 マリブ

12月20日(水)

思 想 の た め の 食 物

聖書朗読 ヨハネ 6:55

わたしの血はまことの食物、わたしの血はまことの飲み物だからです。
ヨハネ 6:55

エジプトでの奴隷生活から逃れてまもなく、イスラエル人たちは食料が不足しました。神様は食料として、彼らにマナを与えました。この甘いパンは、荒野野においては十分な食料でした。しかし、神様が思いやって40年間ずっと食べさせてくれたにも関わらず、イスラエル人たちは再び不満を言い始めました。

聖書の中には、食べ物について何度も議論している箇所がでています。食べ物をどのように準備するか、どんな食べ物が口にするのに適しているかなどです。いのちを与えるマナは、神様がご自分の国民を食物をもって養われた話です。

ヨハネ4章の中では、イエス様が井戸端で女と話をされています。ちょうど帰って来た弟子たちは、イエス様が食事をとっていないので不思議に思い、互いに「だれか食べる物を持って来たのだろうか。」とたずね合いました。不思議なことに、イエス様は、自分は食べる必要がないとお答えになり、「わたしを遣わした方のみこころを行い、そのみわざを成し遂げることが、わたしの食物です」とおっしゃいました。

いのちのパンなるイエス様には、実際の食べ物は必要なかったのです。イエス様は父なる神様のみこころによって完全に養われているのです。そしてイエス様は弟子たちに、神様の仕事をするることによってのみ、自分自身のいのちを維持することができるのだと教えたかったのです。さあ、あなたも目を上げて、刈り取るばかりに実った畑をごらんさい。

お腹が空いたときは、収穫に参加してたましいを満たしましょう。

聖歌 210

祈り お父様。精神的に渴望するときには、あなたとみことばに支えを求めるために、あなたに向かうことができますように。
イエス様の御名を通して。アーメン。

ステシー・オーエンス
テネシー州 ヘンダーソンビル

12月21日（木）

全 て を 知 っ て い る 方

聖書朗読 ヨハネ 4：39～42

造られたもので、神の前で隠れおおせるものは何一つなく、神の目には、すべてが裸であり、さらけ出されています。私たちはこの神に対して弁明をするのです。

ヘブル 4：13

私たちには皆、他人に知られたくない秘密があります。それは自分たちの家族だけが知っていればいいことです。そしてそれが人生というものです。

しかし、神様からみれば、隠れて見えないものは何もないのです。サマリヤの女のようにです。彼女はイエス様に井戸端で出会ったとき、イエス様が彼女の過去をすべて知っていることを知りました。それは彼女にとって新しい驚きでした。

明らかに、初めての出会いにもかかわらず、イエス様が本当の彼女を知っているという事実が、彼女を最も印象づけたのです。彼女を知らない人は絶対に知らないだろうと思っている秘密をイエス様は彼女に語ったのです。これが、神様の知識です。神様は他人が知らないこともご存知です。そして、神様に知られたくないと私たちが思っていることも神様はご存知です。

そうだとすると、なんか怖い気がします、そうではありません。サマリヤの女のように、神様は私たちの秘密を知った上で、私たちを愛してくださるのです。神様は私たちをご自分の子どもとなし、私たちの過ちを正そうとしてくださいます。実際、神様は私たちを愛するがゆえに、イエス様を私たちの身代わりとして死ぬように送ってくださったのです。これ以上の愛はありません。

讃美歌 175

祈 り お父様。あなたがくださったイエス様という贈り物に感謝します。私たちはイエス様のいのちを受けるに値しませんが、それにもかかわらず、あなたはくださいました。私たちは祈ります。私たちの人生をもってイエス様に報いることができますように。

イエス様の御名において。アーメン。

チャド・エゼル

テネシー州 ミラン

12月22日（金）

そ れ が 欲 し い で す か

聖書朗読 ヨハネ 5：1～7

イエスは彼が臥せっているのを見、それがもう長い間のことなのを知って、彼に言われた。「よくなりたいか。」

ヨハネ 5：6

イエス様は自分が教える地域に住む人全員を心にかけていましたが、地域社会からは見放されている人々を、特に大切にされています。たとえば、38年間身体を患っている人がイエス様の注意を引こうとしたときです。その男を治す前に、イエス様は「よくなりたいか」とお尋ねになりました。

あなたはその場面を思い描くことができますか。もうすぐ40年にもなろうという長い間病苦に苦しんでいる人に、よくなりたいかと聞く人がどこにいるか、想像してみてください。病人も周囲の人のもうとっくによくなることはあきらめていたことでしょう。しかし、イエス様は目に深い愛をたたえてその病人によくなりたいかと問うたのです。イエス様と話しながら、その病人のあきらめが希望に変っていくのが見えますか。

なんという問いかけでしょう！ このキリストの力の例は、私に、日々出会う人たちに問いかけることの大切さを思い出させてくれます。私にはイエス様がなさったように、病気の人を治すことはできませんが、たましいを健康にするため、救い主へ導くことはできます。福音のめぐみはすべての人のためです。誰もが、聖書に書かれたすばらしい約束を享受することができるのです。私たちは皆、神様の子どもとなることができます。聖霊から希望をもらい、イエス様と一緒に、神様から約束されたものを相続することができるのです。なんというすばらしいお約束でしょう。あなたはよくなりたいですか。

讃美歌 398

祈 り 主よ。私が日々他人に出会うことができるように大胆にしてください。あなたのみことばが人をやさしく癒したように、私の言葉や行動からもそれが表れますように。

あなたの御子を通して祈ります。アーメン。

シャロン・フォスター

テネシー州 マックエウン

12月23日 (土)

杯が満ちて流れ出るように

聖書朗読 ヨハネ 7:37~44

わたしは潤いのない地に水を注ぎ、かわいた地に豊かな流れを注ぎ、わたしの霊をあなたのすえに、わたしの祝福をあなたの子孫に注ごう。 イザヤ 44:3

隣家のジェフの家で、前庭に埋まっている水道管が壊れました。私たちが車で通りかかると、ジェフが壊れた箇所を説明するまでもなく、どこが壊れているのかが見て取れました。なぜなら、庭全体の芝生の色はくすんでいるのに、そこだけ青々と茂っていたからです。何週間もかけて少しずつ漏れた水が芝生を育てたに違いありません。

会堂では、イエス様は目立たないように振る舞っておられましたが、エルサレムの祭りの終わりに、集まった多くの群衆の前で、立ち上がって大声で言われました。11語の単語で人々をこう招いたのです。「だれでも乾いているなら、わたしのもとに来て飲みなさい」。イエス様は人々に生きる水と永遠の満足を提供したのです。それは人々の今までの伝統的な生活にはないものでした。

あなたはのどが乾いていますか。イエス様と福音の時を過ごしませんか。静かに座ってイエス様で心を満たしましょう。そうすれば、イエス様の思想や言葉や行動があなたの人生を満たします。傍目にもあなたがイエス様の弟子であることが、はっきりとわかるでしょう。漏れた水道管から切れ目なく流れ出る水のように、イエス様との時間を着実に続けることによって、あなたの人生はめきめき変わっていくのです。今だけでなく永遠に。

讃美歌 217

祈り お父様。私たちがイエス様のご招待を受けて、大いに飲むことができるように助けてください。

イエス様の御名において。アーメン。

サリー・ジェーン・シャンク
ウエストバージニア州 ビエナ

12月24日(日)

光に向かって

聖書朗読 ヨハネ 8:12~20

「わたしは、世の光です。わたしに従う者は、決してやみの中を歩むことがなく、いのちの光を持つのです。」 ヨハネ 8:12

暗やみの中を移動するのは難しいものです。私は説教者として働いていとき、真っ暗な教会の講堂の中を歩いたことがあります。電灯がついていなかったり、懐中電灯がないときには、部屋のずっと反対側から差す明かりを目指して歩く、ということを学びました。

暗やみは人生を困難にします。人生の目標となってくれる何か光が必要です。隠喩的な暗やみがしばしば私たちを驚かせます。いじめや裏切り、悲劇、社会不安が私たちを暗闇に突き落とします。私が講堂の後ろからさす明かりを目指して歩いたように、光なるイエス様を目指せば、人生の暗やみの中を歩くことができます。暗やみを歩く方法を他人にも教えてあげれば、イエス様の光が広がります。さあ、光に向かって歩きましょう。

イエス様が生まれつき盲目の人を治したら、その人はまだ盲目のように手探りでも、プールに入って洗おうとし、そしたら光が消えて真っ暗になった。

なぜって、私たちは手探りで進む必要はない。

キリストの方角があれば十分だから。

光が消えるのは神様ご自身の時間においてのみ。

————— シャーウッド・ワート

讃美歌 357

祈り 親愛なる神様。なんと多くの人々が闇の中でくらしていることでしょう。イエス様の光がもっと光り輝き、もっと多くの場所で、もっと多くの人々に届きますように。孤児や難民がその光を見ることができますように。病人や落胆している人がイエス様を見ることができますように。私を通して隣人がイエス様の光を見ることができますように。私がいつも光に向かって歩けますように。

世界の光を通して祈ります。アーメン。

ハロルド・シャンク
ウエストバージニア州 ビエナ